

折尾駅舎保全・活用基本方針

この基本方針は、おりお未来21協議会の「折尾駅舎保全・活用検討会議」での議論を踏まえ、協議会と市が協働して、現段階で望まれる「折尾駅舎の保全・活用案」をとりまとめたものである。

<保全・活用の目的>

- 折尾駅舎が担ってきた地域のシンボル性を守り伝えていくこと。
- これまで地域住民が折尾のまちづくりに取り組んできた象徴を残すこと。
- 「自分たちのまちは自分たちで作り、そして管理・運営する。」といった概念を地域住民で共有し、折尾のまちへの愛着を高めるとともに、実際の管理・運営を通して、また、活用することで、住民主体の「持続した魅力あるまちづくり」を展開すること。
- 市としても、これまでの折尾のまちづくりへの地域住民の取り組みや折尾駅舎の保全・活用に対する地域住民の熱意を受け、この建物を地域住民が自ら運営し、活用する「地域に愛される施設」として支援すること。

<保全・活用方法>

- 折尾の文化を大切にし、地域の人々が活用できる「生きた施設」として、複製保全する。
- 複製保全においては、歴史性を考慮して、現存するシンボリックな部材を最大限に活かす。
〈シンボリックな部材〉 待合化粧柱、柱頂部の装飾金物、格子天井、待合円形ベンチ、開口部廻り装飾、棟飾り
- 保全・活用の概要
時 期 平成30年以降（土地区画整理事業の進捗に合わせて実施）
場 所 南口駅前広場付近
堀川沿いの歴史公園（駅から南に500メートル離れた場所）
外 観 大正5年当時の外観で保全
構 造 法規に適合した建物
活 用 策 地域の人々が活用するだけでなく、観光資源ともなるような施設を目指す。
〈南口駅前広場付近案〉 商業機能、コミュニティ機能、多目的ホール機能
〈堀川沿いの歴史公園案〉 図書館、商業機能、資料館、会議室機能、駐車場